

学校だより 校訓『明るく 本気で たくましく』

たけはら



令和元年5月7日 発行 第2号
小美玉市立竹原小学校 児童数 211名
電話 0299-47-0009
メール 510801@sch.ibk.ed.jp
URL <http://www.city.omitama.ibaraki.jp/takehara-e/>

～ 授業参観・PTA総会等ありがとうございました ～

4月20日には、授業参観・PTA総会・学級懇談等にご参加いただきありがとうございました。今年度も、連携しながら、子供たちをより良い方向に導いていければと思います。引き続きのご協力・ご支援をお願いいたします。

～ 家庭訪問、お世話になりました ～

令和元年が始まりました。学習指導要領が改訂になり、令和2年度から完全実施となります。本年度は移行期間ではありますが、授業時数の増加に伴い、その確保が課題となっています。そのため、短時間での家庭訪問となり、申し訳ありませんでした。本来であれば、担任と保護者の皆様、子供のために十分な情報交換をしたいところですが、時間の都合上、難しかったと思いますので、お子様に関しての、ご相談等がありましたら、時間を設定いたしますので、お気軽にご連絡ください。

～ 本年度の竹原小学校の学校経営について ～

今年度の「竹原小学校 学校教育プラン（グランドデザイン）」ができましたので、裏面に記載します。今年度は、学校の組織目標を「児童のコミュニケーション能力を高める」と設定し、取り組んで参ります。

具体的には、全児童が、あいさつ・返事のできる児童となること、きちんとした受け答えができ、自分の考えをしっかりと述べるができる児童となること、さらには、思いやりのある会話のできる児童となることなどを、日々の授業や生活及び行事等を通して育成していきたいと考えています。4月、5月は、「相手を意識したあいさつ」を重点として取り組んでいます。すでに、大きな声で、礼儀正しくすばらしいあいさつができるお子様もいます。是非、お手本として、毎日がんばってほしいと思います。また、学校全体によいあいさつ習慣が広がってくれたらうれしいと思います。ご家庭においても、お子様にあいさつの大切さをお話しいただけるとありがたいです。

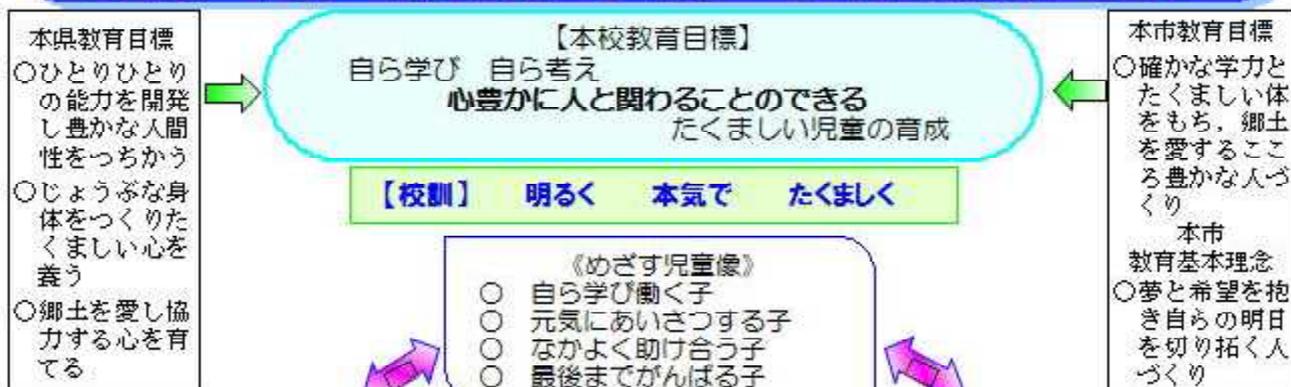
～ 運動会の練習が本格的になります ～

今年は、5月1日が「即位の日」となり、その前後の祝日と祝日に挟まれた日が休日となり、10連休になりました。子供たちにとっては、2回目の春休みが来たような感じだったのではないのでしょうか。また、休日でしか味わえないような体験ができたのではないのでしょうか。連休も明け、学校では、5月18日（土）の運動会に向けて、本格的に練習がはじまりました。暑くなる日も増えてきます。子供たちの健康には、十分に配慮しながら進めていきますが、調子の悪いときは、連絡帳等でご連絡いただくと配慮しやすくなりますので、よろしく願いいたします。

～ 国体開会式「ラジオ体操」の出演校に選ばれました ～

令和元年9月28日に開会する茨城国体の観客参加型プログラム「ラジオ体操」の出演校として竹原小学校が、小美玉市の中で唯一選ばれました。国体に参加できるチャンスは、普段ではないので、とてもよい体験及び思い出になることと思います。6年生を優先に10名限定なので、全員は出られませんが、選ばれたみなさんには、竹原小はもとより、小美玉市の代表として、がんばってきてほしいと思います。練習会が8月31日、リハーサルが9月21日（いずれも土曜日）に予定されています。バスでの送迎となる予定です。Tシャツ・短パンもいただけるそうなので、国体出演という一生の記念になるのではないかと思います。

小美玉市立竹原小学校 学校教育プラン



【校訓】 明るく 本気で たくましく

《めざす児童像》

- 自ら学び働く子
- 元気にあいさつする子
- なかよく助け合う子
- 最後までがんばる子

《めざす学校像》

- 共に学ぶ楽しさに満ちた学校
- 元気なあいさつと助け合いのある学校
- 環境の整った美しい学校
- 保護者や地域から信頼される開かれた学校

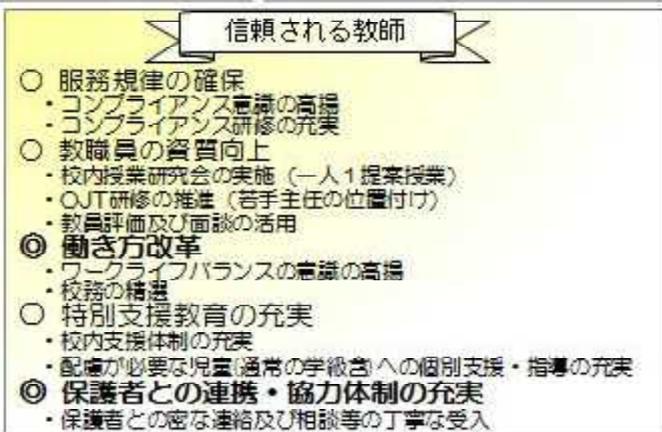
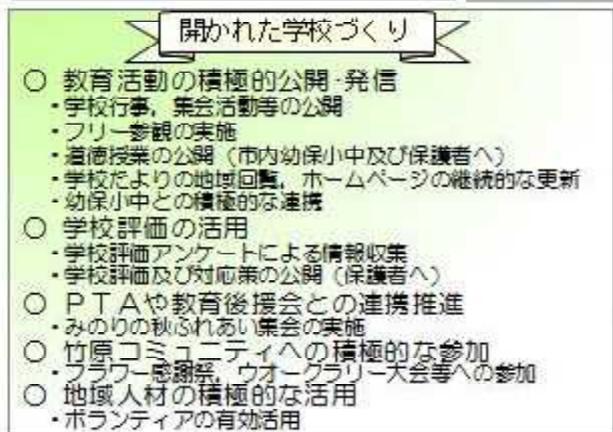
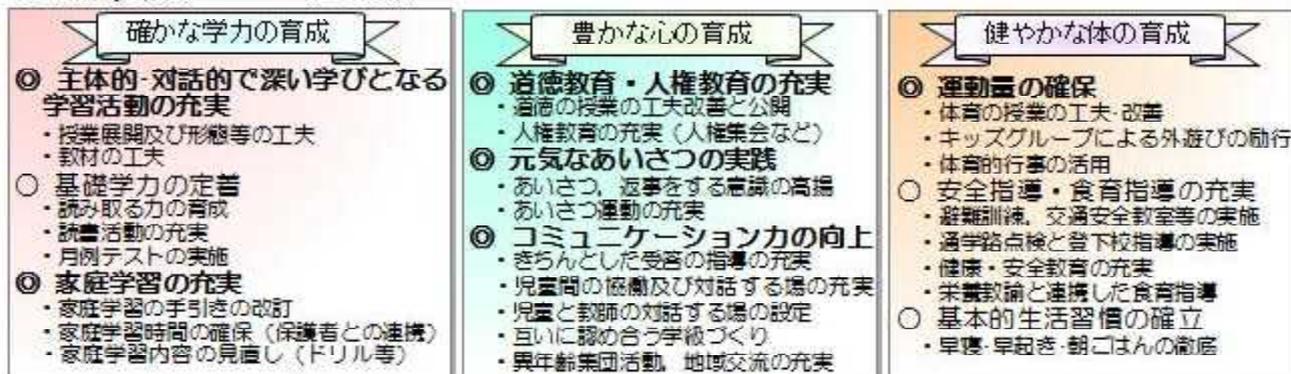
《めざす教師像》

- 教育への情熱をもつ教師
- ・ 児童愛に燃える教師
- ・ 学び続ける教師
- 保護者や地域と共にあゆむ教師

【学校経営方針】 ～楽しく元気な学校づくり～ 『キーワード:コミュニケーション』

- 1 児童が主体的・対話的に学び、分かる喜びを味わい、楽しむことができる学校教育の実現
- 2 あいさつや返事、対話によるコミュニケーション能力の向上、温かみのある人間関係づくり
- 3 豊かな人間性と高い指導力、明るく積極性があり、児童と協働する教師集団の創造
- 4 保護者や地域と連携・協力できる体制の構築

<努力事項> ◎: 重点



組織目標	○ 児童のコミュニケーション能力を高める。
グループ目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 対話的な学びを通して、自ら考えを深める学習指導の充実により、学力向上を図る。 ○ 児童と児童、児童と教師、児童と保護者等が協働する時間を確保するとともに、その活動を意図的に設け、工夫することで、コミュニケーション能力や豊かな心を培う。 ○ 交流や対話的な学びを様々な活動に取り入れながら、健やかな体を育成する。